



伊深小 学校だより H27. 9. 29  
FROM-0歳プラン推進校  
『明るく笑顔あふれる伊深っ子』  
- 学び合う 思いやる やりぬく -

## 運動会の取組で一人一人が成長しました

前号で、2学期は「授業と行事で耐える」学期を目指す旨をお伝えしました。

2学期に入って最初のビッグイベントである運動会。競技や演技はもちろんのこと、応援や係の活動等一人一人にとって努力を要する課題と向き合う機会となりました。児童会ではスローガン『絆を深める運動会 一団結・全力・あきらめない』を掲げ、自分たちなりにステップアップを目指し、取り組みました。取組では、学校生活全般で時間への意識を高め、互いに呼びかけながら日常生活も大切にしてきました。今年度の6年生は6名ですので、彼らはとりわけ大変でした。自分たちの演技や競技は言うに及ばず、児童会種目・応援・係り会等々に加え、日常生活でも息つく暇もないほどの忙しさです。そんな中、日常生活も大切にしながら、見事にリーダーシップを発揮して運動会を成功裏に導いてくれました。

各学年部の演技・競技共に十分な練習時間ではありませんでしたが、一人一人の姿からは、短時間で凝縮して成長した姿を多く見る事ができました。きっと、当日ご覧いただいた子どもたちの姿で合点していただけたのではないのでしょうか。誰が、どの場面で、どのような言動をし、そのことがどのような値打ちがあったのかという事実をみんなで共有しながら取り組みを進めてきました。この一人一人の成長を今後の糧にして、更なる成長を目指します。



## 『結コンサート in 伊深』へお出かけください

来る10月24日(土)午後1時～2時40分の予定で、伊深小学校体育館に於いて『結コンサート in 伊深』を開催します。

会のプログラムは、第一部：徳水博志氏による講演(テーマは「防災・復興支援」)

第二部：いのこ福代・石田音人・八竜リバティーバンドの皆さんによる朗読・胡弓・歌等による公演 です。

徳水博志さんは、東日本大震災当時、宮城県石巻市の雄勝小学校(大川小学校の隣の学校)で「地域に根ざした教育」に取り組んで、すぐれた教育実践を展開してみえました。震災後は、子どもたちの心ケアと復興教育・防災教育に取り組む傍ら、住民組織「雄勝地区震災復興まちづくり協議会」などでまちづくりにも熱心に取り組んでみえます。活動拠点を石巻市雄勝町内の「雄勝ローズファクトリーガーデン」に置き、3.11の巨大津波で壊滅した石巻市雄勝町を「花と緑の力」で復興するために、復興プロジェクト「雄勝花物語」を立ち上げ、復興に尽力するとともに、防災教育・環境教育など幅広い活動を展開してみえます。震災の語り部をしたり、全国各地から依頼を受け、講演をしたりして活躍してみえます。なお、徳水さんには、この日の夜、伊深まち協や自治会のみなさんとの懇話会及び翌日の伊深町防災訓練での講演もお願いしてあります。

いのこ福代さんは、伊深小学校が豊かな表現力を身に付けようと、読み語りの講師としてお迎えしています。8名で「劇団うりんこ」を創立し、33年間在籍。「うりんこ」在籍中は創造委員長として作品創造を担う傍ら、俳優として多数の作品に出演。退団後は他分野との共演をはじめ、朗読の指導を通じ、その仲間と精力的に、地域の文化活動を展開してみえます。東日本大震災後は「音つむぎネット」の仲間とボランティア公演に出かけ、「結コンサート」を開催し、東北の応援を続けてみえます。

石田音人さんは、日本の伝統楽器「胡弓」の演奏家です。演奏活動の傍ら、オリジナルアルバムの出版、テレビ・ラジオ等の出演等幅広くご活躍です。東日本大震災後に被災地演奏支援プロジェクト「音つむぎネット」を立ち上げ、いのこ福代さんらと、岩手・宮城・福島県で10余回40箇所以上で支援コンサートを開催してみえます。

八竜リバティーバンドは15年前に名古屋市で結成された男性2名、女性1名のフォークバンドです。オリジナル曲を中心に、心に響く歌を歌い続け、愛知県内外で活躍してみえます。

徳水さんの貴重なお話しと、バラエティーに富んだ公演は魅力たっぷりです。伊深の地で、このようなすてきな公演が実現します。ぜひお誘い合わせの上、ご来場くださいますようご案内申し上げます。